

報道関係各位  
Press Release



2026年4月24日  
コグニティ株式会社

## 【出展案内】 SusHi Tech Tokyo 2026に出展、 知識表現AIで認知限界を超える「思考と行動の因数分解」を紹介

— 生成AIとは出自の異なる知識表現AIで、少量サンプル・低計算コスト・高い再現性の分析を実現 —

思考と行動の因数分解を可能とする知識表現AI技術のコグニティ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役：河野理愛、以下「コグニティ」）は、2026年4月27日（月）～29日（水・祝）に東京ビッグサイトで開催される「SusHi Tech Tokyo 2026」に出展します。会場では、「認知限界を超える、思考と行動の因数分解」をメインテーマに、会話・文章などの定性情報を“改善に使える指標”へと変換し、判断と説明を再現性ある形に整えて組織課題を可視化するための考え方と手法をご紹介します。

本イベントは、4月27日（月）・28日（火）がビジネスデイ（9:00～18:30）、4月29日（水・祝）がパブリックデイ（10:00～18:00）として開催されます。パブリックデイは無料開放予定で、ビジネスデイは有料チケット制（事前登録）です。

\* イベント公式サイト： <https://sushitech-startup.metro.tokyo.lg.jp/>

Beyond COGNITIVE limits  
Factorizing Thought and Action

### 認知限界を超える、 思考と行動の因数分解

COG-SUITE  
コグ・スイート

思考と行動の  
エビデンス化  
プラットフォーム

- ✓ 検討違いが無くなる 感覚ではなく
- ✓ 改善を行動レベルに落とせる
- ✓ 説明できる判断になる 数値から

C-549ブースへ  
お越しください！

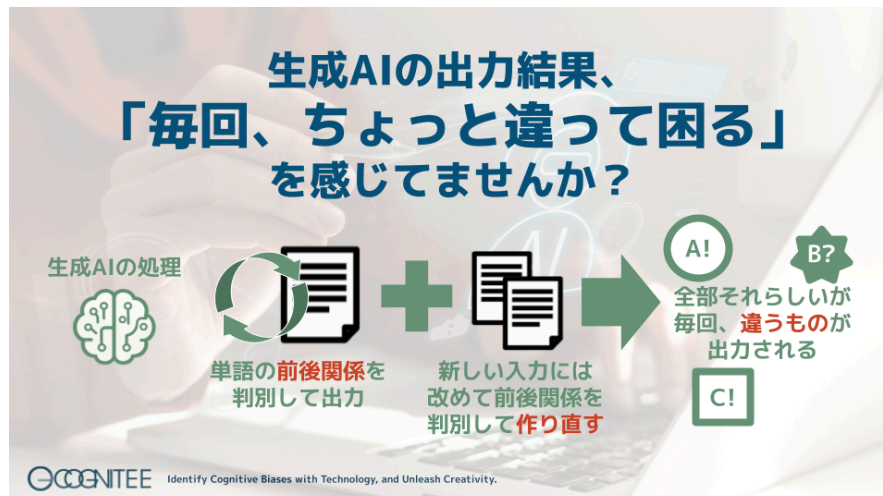
分析結果：話題構成の違い

### ■ 出展の背景

企業の意思決定や改善活動は、どうしても個人の経験や暗黙知に依存しやすく、説明責任や再現性の確保が難しくなりがちです。一方で生成AIの普及により「一般論としてそれらしい答え」は得やすくなりましたが、現場の課題は、業種・組織・状況ごとに条件が異なる個別事情の集合であり、一般論だけでは解決しにくいケースも少なくありません。さらに、生

成AIの出力は入力文脈から都度生成されるため、毎回ちょっと違って戸惑いを感じる場面も起こり得ます。

コグニティは、こうした“属人化しがちな判断”を、状況に依存しすぎない形で捉え直し、比較・改善へ接続するために、「思考と行動の因数分解」というアプローチを提示します。



キャプション：毎回ちょっと違うと感じる生成AI

## ■ 出展内容

### 1) 「認知限界を超える、思考と行動の因数分解」——判断を“分解→比較→改善”へつなぐ

日常行われている判断やコミュニケーションを“感覚”のまま扱うのではなく、因数分解して構造化し、改善施策やKPIなど行動レベルに落とし込むための考え方を紹介します。

### 2) 知識表現AI「CogStructure」——比較軸を固定し再現性のある比較を可能にする

生成AIとは出自の異なる知識表現（Knowledge Representation）領域の技術として、少ないサンプルでも言語やシーンに依存しにくく、データ収集の負担・計算コスト・再現性の面で強みを持つアプローチを紹介します。独自の特許技術「CogStructure」は、意味段落ごとの関係性を図に変換し、70近いパラメータに因数分解することで、状況表現軸を固定し、比較・再利用を可能にします（特許取得済：特許第6573321号）。会場では、実際の分析レポートをご覧いただきながら、内容をご説明します。

### 3) 配布予定レポート（CogStructureを用いた独自分析）

会場では、以下のレポート（冊子）配布を予定しています。

- ・「株価が動く、株主総会とは？」
- ・「技術で語る企業価値」
- ・「人的資本経営」

## ■ 出展概要

イベント名：SusHi Tech Tokyo 2026

会期：

2026年4月27日（月）・28日（火）＜ビジネスデイ＞ 9:00～18:30

2026年4月29日（水・祝）＜パブリックデイ＞ 10:00～18:00

会場：東京ビッグサイト

入場：ビジネスデイ＝事前登録制（有料）／パブリックデイ＝無料開放予定

ブース位置：西1ホール C-549（西展示棟1階／エリアC）

## ■ ピッチ登壇

代表取締役の河野理愛が、4月28日（火）12:00よりAtrium Stage（西ホール1階）にて行われる「現場から教育まで変えるテック最前線」において、ステージ内のピッチ枠に登壇し「認知限界を超える、思考と行動の因数分解」について話します。



キャプション：ピッチ登壇（4/28 12:00～ Atrium Stageにて）

## ■ トライアルのご案内：Baseline Review機能

コグニティは、会話・文章などの定性データを、独自の構造化技術により「改善に使える指標」と「行動に落ちる示唆」に変換する分析サービスを提供しています。商談・会議・社内共有・研修・顧客対応・IRなど、目的に応じてコミュニケーションの“伝わり方”と“成果につながる要因”を可視化し、改善の優先順位と打ち手を提示します。

その入口として、短期間で現状の課題と改善の方向性を把握できる「Baseline Review（お試し）」を5万円（税別）で2026年1月27日にリリースいたしました。個人・組織の力量を確かめるため、パフォーマンスが良いトーク/悪いトークの違い（構成・論点の置き方・説得の流れ等）や最終版の再レビュー（Before/After比較）として、録画・音声・書類等を2本ご提出いただくことで、分析結果とブリーフィング1時間でフィードバックします。（個人利用の場合は、ブリーフィングに代わりメールもしくはオンラインセミナーにて実施）



**組織判断は、  
感覚で決めない。**

Baseline Review提供開始  
2件までの個別検定+意思決定ブリーフィング

会議・商談・1on1・チャット・報告書  
組織のリアルを定量化、要因抽出から成果検証まで。

月30社 限定  
初回5万円 (税別)

申込ページ：<https://cognitee.com/baseline-review-cog-evidence>

#### 【コグニティ株式会社 会社概要】

- 社名：コグニティ株式会社
- パーパス：技術の力で、思考バイアスなき社会を。
- 事業内容：定性情報の定量化技術を使った組織分析サービス
- 本社：〒140-0015 東京都品川区西大井一丁目1番2-208号
- 設立：2013年3月28日
- Web：<https://cognitee.com/>
- 資本金：6億円（準備金含む）
- 従業員：71名（リモートワーカー含む）
- 代表者：代表取締役 河野 理愛
- 受賞歴他：
  - EY Innovative Startup エンタープライズ部門受賞(2019)
  - 第11回 HRアワード 人材開発・育成部門 最優秀賞(2022)
  - 第22回 一般社団法人日本テレワーク協会 テレワーク推進賞 優秀賞受賞(2022)
  - 第3回TOKYOテレワークアワード 推進賞(2023)
  - 一般社団法人生成AI活用普及協会協議員(2023～)

本件に関するお問合せ  
コグニティ株式会社 広報担当：奥井  
Email: okuinagisa@cognitee.com TEL: 03-4212-8445